

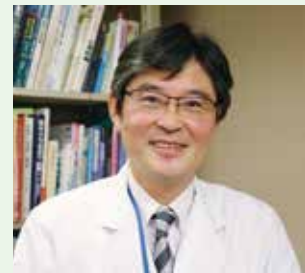
HEALTH LETTER



センター長就任のご挨拶

本センター創設時より、センターの運営にご尽力いただいた車谷センター長が本年3月末を持って退任されました。4月1日より新たなセンター長として、嶋 緑倫 教育・研究担当理事が任命されました。

この度、県民健康増進支援センター長を拝命しました嶋でございます。本センターは、2014年4月に開設されて以降、奈良県立医科大学の地域貢献事業として県や市町村が実施する保健・医療・介護事業の評価等の支援活動を行ってまいりました。健康長寿の実現には、平素からの個人や地域での健康維持増進の取り組みが重要であるといわれています。このような社会状況の中、私も前センター長の意志を受け継ぎ、行政の皆様の健康増進事業等の推進を支援し、ひいては県民の健康に寄与できるよう一層の努力をしてまいりますので、引き続きセンターを積極的にご活用いただけるようお願いいたします。



県民健康増進支援センター
センター長 嶋 緑倫

<略歴>

奈良県立医科大学 小児科 教授 (2009年～2019年3月) / 同 研究部長 (2014年～2019年3月) / 同 血栓止血研究センター長 (2018年～) / 同 教育・研究担当理事、副学長、医学部長医学部長 (2020年4月～) 国際血栓止血学会 理事 (2018年～) / 日本血栓止血学会 理事長 (2017年～) / 日本血液学会 理事 (2012年～)

<受賞>

日本血液学会賞 (2018年)、国際血友病学会 Arosenius 賞 (2016年)、日本血液学会奨励賞 (1993年) Shima M, Hanabusa H et al. Factor VIII-Mimetic Function of Humanized Bispecific Antibody in Hemophilia A. N Engl J Med. 2016;374(21):2044-53.

県民の健康増進を科学的な立場から支援することを目的に開設された本センターと共に歩んで6年、本年3月末を持ってセンター長を退任いたしました。これまでの活動を通じて健康に関する社会の変化から、センター機能の重要性が年を追うごとに高まっていると感じて参りました。

この度、就任された嶋センター長の下、新たな体制で皆様への支援活動の一層の推進を図ってまいりますので引き続き県民健康増進支援センターをよろしくお願い申し上げます。

前センター長 車谷 典男





令和元年度の支援活動について

[支援件数]

個別相談や会議・講師派遣など	
総数	127 件
(内訳)	
相談	57 件
会議・講師等	70 件

[主な支援先]

- 県 庁：医療保険課、健康推進課など
- 奈良県国民健康保険団体連合会
- 奈良県後期高齢者医療広域連合
- 保健所：奈良県中和保健所など
- 市町村：橿原市、生駒市、香芝市、宇陀市、田原本町、高取町など

[具体的な支援内容]

- プロジェクト支援
 - 下記の各種計画策定及び評価にかかるデータや情報等を基にした評価分析・対策の検討（会議資料作成）など
 - ・ 県や市町村の健康増進計画
 - ・ 市町村の食育推進計画、介護保険計画、データヘルス計画
- データ分析
 - 上記以外の保健・医療・福祉に関する調査・事業に関するデータや情報等を基に評価分析や新たな評価システム開発など
- 調査支援
- 研究・学会等
 - 共同研究事業
 - 学会での研究報告 ・ 日本公衆衛生学会 他
- 講師・委員等派遣等
 - ・ 各種計画策定や進捗管理の会議等において、事業・調査の評価等に対する専門的な知見や意見及び助言。
 - ・ 保健事業等にかかる研修での講師や検討会等でのアドバイザー等
- その他

研究報告

Archives of Gerontology and Geriatrics (2020年1月30日)で、「定期的な歯科受診は重度の生活機能低下を予防する：地域ベースの前向きコホートより」を発表しました。

歯の健康は、健康長寿の重要な構成要素と提唱されていますが、歯科受診と生活機能との関連は十分検討されていません。本研究では、地域在住元気高齢者を対象とした前向きコホート研究を行い、定期的な歯科受診が生活機能低下の重症度に影響を与えているのかを検討しました。

解析対象者は、2014年のベースライン調査時に介護保険による認定を受けていない者9,352名のうち、33か月追跡することが出来た8,877名（男性46.7%、平均年齢73.1歳）としました。追跡時に認定なしを「機能維持」、要支援または要介護1を「軽度低下」、要介護2以上を「重度低下」と判定しました。

統計的手法（多項ロジスティック回帰分析）を用いて、「機能維持」群を基準カテゴリーとした調整オッズ比を算出しました。調整変数は年齢、性、家族構成、婚姻状況、主観的経済観、学歴、現病歴（高血圧、脳血管疾患、心臓病、糖尿病）、BMI、生活習慣（飲酒、喫煙）、認知機能、うつ症状、手段的ADL、および歯の健康（入れ歯の使用、口渇の自覚、歯磨き習慣）を用いました。その結果、定期的な歯科受診をしていた者は、受診していない者に比べて、「重度低下」の調整オッズ比が0.65（95%信頼区間0.49-0.91）となり、発生リスクが約35%低くなること示されました。

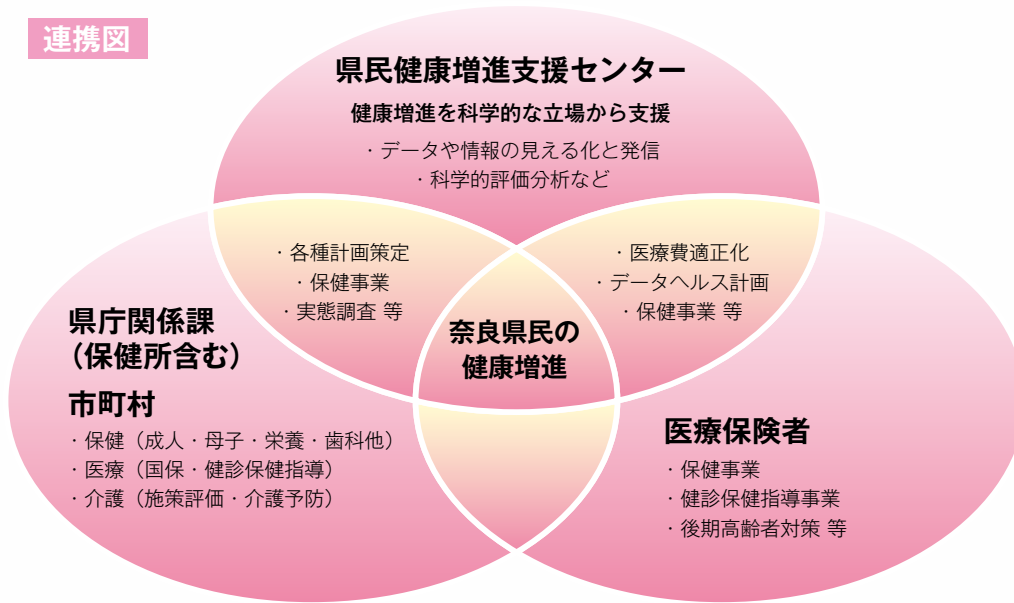
本研究結果は、地域在住高齢者に対して、歯科受診を促す対策を講じると、要介護2以上の要介護状態が予防され、健康長寿につながることを示唆するものです。本研究を「根拠に基づく健康長寿対策」のエビデンスとしてご活用いただければ幸いです。



令和2年度のセンター活動について

県民健康増進支援センターでは、奈良県立医科大学の第3期中期計画における地域貢献事業として奈良県民の健康増進への貢献を目的に保健・医療保険・福祉に関し、県と連携して研究に取り組みその成果を県民に還元するとともに市町村や県が実施する保健・医療保険・福祉事業への協力・連携及び実践的研究に取り組みます。

連携図



令和2年度活動方針

県及び市町村等の保健・医療保険・介護事業の評価・分析及び事業展開に関する個別支援

- 保健事業およびアンケート調査に関する評価・事業展開の相談
- 中和保健所派遣
- KDB データの活用と情報提供システムの構築

調査・研究

- 健康増進に寄与する調査研究
- 行政のエビデンスに基づく施策展開のための研究支援など



保健・医療保険・介護の各種計画策定の支援

- 計画等を評価・分析し策定や進捗管理の支援
- 計画策定に伴う調査結果の分析

PR・情報発信

- 公開講座「暮らしと医学」
- 橿原市「健康かしはら21講座」
- センター機能の紹介
- ニュースレター発行
データ活用に関する情報提供

など



公立大学法人 奈良県立医科大学

県民健康増進支援センターの取り組み

～奈良県民の健康長寿を目的に取り組む地域貢献事業です～

県・市町村の保健・福祉・国保担当者等の皆様を対象に
評価・調査分析等の相談支援を行なっています

＋ こんなお悩みをご相談ください

- ✓ 住民の健康問題をどんなアンケートで把握すれば良いのか
- ✓ 調査に必要な対象者の人数や選び方などを知りたい
- ✓ 調査の業務委託の際に正確なデータを得るための注意点を知りたい
- ✓ 調査結果をどのように分析し、どのようにまとめてわかりやすく見せるのか知りたい
- ✓ 保健事業やネットワーク作り等を行うための情報収集や資料についてアドバイスがほしい
- ✓ エビデンスに基づく事業が求められているが、どのように取り組めばよいのか

日時 年末年始、祝祭日等を除く毎週月曜から金曜日
午前9時から午後5時まで（完全予約制 費用：無料）

場所 奈良県立医科大学基礎医学棟 4階
県民健康増進支援センター

担当 専門のコーディネーターが個別に対応します。

まずはお気軽に
お電話にて
ご相談下さい

ご相談をご希望の方は下記までご連絡ください

<連絡先>

TEL (代表) 0744-22-3051 内線 (3608) ※電話受付 平日の9:00～17:00

公立大学法人 **奈良県立医科大学 県民健康増進支援センター**

奈良県橿原市四条町 840 奈良県立医科大学 基礎医学棟 4階

URL <http://www.named-u.ac.jp>